大正九年十一月十日 第三種郵便物認可
康德七年一月四日（昭和十五年） 新京日日新聞 （木曜日） 第六千百二號 （一）

夕刊
一月四日
發行所 新京日日新聞社 電話三三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 和波叢
印刷人 水越内之介

國境（滿ソ滿蒙）確定、紛爭防止 處理委員會設定決る

【東京國通】日本政府は滿洲國建國以來滿ソ、滿蒙國境に頻發した國境不祥事件を根絶すべく滿ソ滿蒙國境における紛爭を防止し且つこれを平和的に處理する使命を以て委員會を設置することを適當なりと認め客年末より東京ならびにモスクワにおいて野村、スメターニン、東郷、ロゾフスキー間で協議を進めてゐたところこの程に至り大體日本政府の提案を基礎として國境確定ならびに紛爭防止および處理委員會を設定するに決定した、委員會設定の具體的要項については更に日ソ間に協議が進められる筈であるが滿ソ、滿蒙兩國境に新しく紛爭防止ならびに處理の機構が創設されたことは我が國交調整外交の一大躍進と見られてゐる、右に關し外務省情報部は三日午後四時左の如く發表した【寫眞上から野村外相、ヌメターニン大使、東郷大使、モロトフ外務人民委員】

外務省情報部發表

帝國政府は曩に滿洲國政府と協議の上滿ソ滿蒙國境における國境紛爭を防止し且これを平和的に處理するため滿ソ滿蒙紛爭防止および處理委員會を設定すべきことにつきソ聯政府と話し合つたところ、ソ聯政府も右に同意したので右に關する條約案を客年十一月十五日野村外務大臣よりスメターニン蘇聯大使に提示しモスクワにおいても東郷大使よりモロトフ外務人民委員にこれを傳達して置いた、然るに客年十二月三十日ロゾフスキー外務人民委員部次長は東郷大使に對しソ聯側の意向として若干修正ならびに追加を求めると共に大體において日本案に同意を表して來た、よつて更に本問題につき折衝を續けることゝなつた

カー英大使

【香港三日發國通】カー駐支英大使は重慶訪問の途次二日午前上海から香港に到着した一行は近日中に空路重慶に赴く筈

綿製品一割引下げ 農村經濟に一大福音

政府は戰時經濟の高度化に對處して低物價政策の完遂を期し各種の對策を實施しつゝあるが滿人農民大衆の必需品たる衣料の大巾引下げを企圖し、過般來關係當局と經營の合理化、經費の節減につき協議を進めた結果既報の如く最も需要多き大尺布の價格につき一割の引下げを斷行することゝなり産業部布告を以て四日附左の如く公布した

元賣捌業者販賣最高價格（單位價格圓、數量一反）

品種	銘柄		新京	哈爾濱	安東	奉天	營口	錦州
大同布	進寶	一八×三三	四、六〇	四、六〇	四、六〇	四、六〇	四、六〇	四、六〇
大尺布	白羊美人	一八×三三	四、六〇	四、六〇	四、六〇	四、六〇	四、六〇	四、六〇
大尺布	營口大尺布一等品	一八×三三	四、三五	四、三五	四、三五	四、三五	四、三五	四、三五
染大尺布	鼎發財	一八×三三	五、九〇	五、九〇	五、九〇	五、九〇	五、九〇	五、九〇

小賣最高價格（單位長さ3米三分ノ一價格圓）

品種	銘柄		新京	吉林	齊哈爾	佳木斯	牡丹江	哈爾濱	安東
大同布	進寶	一八×三三	九〇	九〇	九五	一、〇〇	九五	九〇	九〇
大尺布	白羊美人	一八×三三	九〇	九〇	九五	一、〇〇	九五	九〇	九〇
同	營口大尺布一等品	一八×三三	八五	八五	九〇	九五	九〇	八五	八五
染大尺布	鼎發財	一八×三三	一、一五	一、一五	一、二〇	一、二五	一、二〇	一、一五	一、一五
同	正藍染	一八×三三	一、一五	一、一五	一、二〇	一、二五	一、二〇	一、一五	一、一五
同	毛藍染	一八×三三	一、〇五	一、〇五	一、一〇	一、一五	一、一〇	一、〇五	一、〇五

品種	銘柄		奉天	營口	洮南	錦州	延吉	通化	承德
大同布	進寶	一八×三三	九〇	九〇	九五	九〇	九五	一、〇〇	九五
大尺布	白羊美人	一八×三三	九〇	九〇	九五	九〇	九五	一、〇〇	九五
同	營口大尺布一等品	一八×三三	八五	八五	九〇	八五	九〇	九五	九〇
染大尺布	鼎發財	一八×三三	一、一五	一、一五	一、二〇	一、一五	一、二〇	一、二五	一、二〇
同	正藍染	一八×三三	一、一五	一、一五	一、二〇	一、一五	一、二〇	一、二五	一、二〇
同	毛藍染	一八×三三	一、〇七	一、〇五	一、一〇	一、〇五	一、一〇	一、一五	一、一〇

産業部當局談

綿製品價格引下げにつき産業部は左の如き當局談を發表した

政府に於ては昨年三月二十五日原棉綿製品統制法を施行し原棉及綿製品の配給統制、適正なる價格の維持安定に努力し來つて居るのであるが周知の如く過般政府に於ては戰時經濟體制の高度化に對處する爲生産資材は勿論のこと主要農産物並に一般消費物資に付て所謂適正なる價格を決定し國民經濟の圓滑なる運營を期する事とした爾來綿製品に付ては原綿生産及配給の各部門に亘り鋭意之が檢討を加へたる結果紡績業者配給業者に關する經營の合理化經費節減等につき合理的結論を得るに至つたので過般主要糧穀の適正價格の決定に對應し今般農民大衆の必需衣料たる大尺布の價格一割の引下げを斷行した次第である以上要するに今般の綿製品價格引下げは綿業關係各機關の經費節減經營の合理化等に依り特に農民大衆の必需衣料の大幅引下げを斷行せる點に我國の特殊事情を考慮する價格政策の特異性があるのである、關係業者は勿論のこと一般消費者に於てもこの度の政府の施策に協力することを切望する次第である

戰線の元旦 ○○基地荒鷲部隊遙拜式

北鐵代償相殺殘額 近く支拂ひ交涉開始

北鐵代償金最終割賦金問題は舊臘卅一日の東郷、モロトフ會談の結果、大綱につき意見一致を見たので滿ソ兩國政府では滿洲國の支拂ふべき相殺殘額の支拂業務並びに物資による支拂分の割當等につき近く細目交涉を開始する筈で、會議地は東京若くは哈爾濱に決定されることゝならう

滿ソ兩國間の重大懸案の一つとして過去廿ケ月に亘り交涉中であつた北鐵讓渡最終割賦金支拂問題に付ては同債務の保障國たる日本政府が斡旋に乘出しモスクワに於て東郷モロトフ兩氏の間に商議が進められた結果、舊臘卅一日に至り日ソ漁業條約暫定協定と並行して割賦金支拂に關する大綱に基づき圓滿妥結を見た、本問題は昨年三月廿三日期限にて滿洲國政府よりソ聯政府に支拂ふべき割賦金六百萬圓弱について滿洲國側が北鐵債務の履行を條件に異議を申立てたところから兩國間に紛爭を惹起したものであつたが、今回ソ聯政府が北鐵債務百卅萬圓の支拂を承認し、右北鐵代償割賦金より控除することに同意したことから圓滿妥結を見たもので兩國政府が互讓妥協の精神により多年の懸案を一擧に解決するに至つたことは兩國關係の改善に寄與するところ多大であり、七日より再開される滿蒙國境事件の哈爾濱會議及び日ソ間の漁業條約長期本協定交涉の上にも好影響を齎すものと期待される

正式調印完了

【モスクワ一日發國通】東郷大使とモロトフ外務人民委員との間に交涉中の日ソ漁業暫定協定は一日午後六時正式調印を了した、右は現行漁業協定の期限を更に一ヶ年間延長することを約定するものであるが、本條約は兩國間の折衝をまち今年中に締結されることゝなつてゐる

【東京國通】日ソ漁業條約暫定協定は卅一日夜モスクワに於て東郷大使とモロトフソ聯外務人民委員との間に無事調印を完了したので外務省情報部では二日午後一時四十分左のごとく發表した

日ソ間漁業暫定協定は昭和十四年十二月卅一日午前十一時（モスクワ時間）署名を了し同時に北鐵代償金最終割賦金支拂問題に關し諒解を遂げたり

香港港閉鎖 英海軍當局發表

【香港二日發國通】香港の英海軍當局は二日午後五時ステートメントを發表し香港港を二日午前以後閉鎖せる旨發表した

英海軍當局は香港戒時警戒の一手段として香港港を本朝閉鎖せしことを聲明す、右處置は海上哨艇よりの警報に接したる結果なるも右警報の原因については目下探究中である

余漢謀主力を覆滅 第一線に敵影認めず

【廣東二日發國通】南支派遣軍二日正午發表＝

一、敵の冬季攻勢に乘じ敢行したるわが反擊作戰は極めて有利に進展しわが精鋭將兵團は所在の敵を擊滅しつゝ前進旬日を出ずして敵の本據翁源、山家鎭英德附近の各要衝を覆滅し以て余漢謀軍主力に徹底的打擊を與へたり

二、今や軍は所期の目的を達成しわが第一線近くに敵を見ざるに至りしを以て今より悠々反轉しわが包圍圈内に於いて四離滅裂狀態にある多數の敗殘部隊を捕捉掃蕩せんとす

三、老獪なる敵は自己の敗退を隱蔽せんが爲この種わが軍の自守的態勢整備をもつて恰もわれを擊退せしめたる如き虛僞宣傳を常套手段となすも皇軍精鋭の前には全くその潰滅せしめられたる事實は既に明かに證明せられたるのみならず今次わが軍の奇襲は當初發表せしが如く土地や都邑の占領にあらずして抗戰を敢へてする敵軍隊の粉碎にあり隨つて敵が再び敗兵を集め蠢動することとあらんか時と所を問はずこの種作戰を擊破することあるべし

四、一月一日までに判明せる戰果の概要左の如し（イ）交戰せし敵兵力約十萬（ロ）確認せる敵の遺棄死體一萬五千（ハ）捕虜約二千（ニ）鹵獲品の主なるもの—迫擊砲八、重機二〇、輕機九五、高射機銃三、小銃二六〇〇、彈藥は小銃彈九百萬發を始めとし、各種銃砲彈を合し約一千三百萬發に達し敵が一ヶ年を費し四苦八苦凡ゆる手段を盡して集積せしものを一擧に鹵獲しこれにより敵の抗戰力に與へたる打擊亦甚大なり

重大變化なき限り既定方針で臨む 首相 對議會信念披瀝

【東京國通】阿部首相は一日午前宮中における拜賀終了後各閣僚の居殘りを求め衆議院有志代議士の反政府運動を續る現下の政局につきかゝる運動によつて政局が左右されることは將來に惡例を殘すから今後重大なる變化が起らぬ限りこれにとらはれることなく既定方針通り再開議會に臨む肚であると信念を披瀝し各閣僚ともこれを諒承した、しかして政府は議會再開までに五黨首との懇談等により局面打開に努める方針である【寫眞は阿部首相】

汪、現地の意見一致 新政權愈よ具體化へ

【上海三日發國通】汪精衛氏を中心とする新中央政權樹立の機運は新春とゝもに進み遠からずいよいよ具體化する見込みとなつたが、新政府に對する日本側の好意的援助に關する具體的事項につきかねて汪精衛側と折衝中であつた日本側現地當局は、舊臘汪氏との間に意見の一致をみるに至つたので四日飛行機で現地側の意向を携へ東京に赴き政府に對し折衝經過を詳細に報告の上諒承を求めることゝなつた

新春總攻擊 海鷲巨彈の雨

【上海三日發國通】艦隊報道部一月二日發表＝

△北支方面戰況

一、海軍航空部隊は卅一日午前午後の二回に亘り山東半島中央部靈山、苗家溝、下馬庄及び田家庄等に據れる敵密集部隊を銃爆擊しこれに甚大な損害を與へたり

二、同日他の航空部隊は山東半島北部黃縣東南の要地石良集及び萬瓦の敵據點を爆碎せり

△中支方面戰況

一、蘇北地區において陸軍部隊に協力せる海軍航空部隊は卅一日實應周邊の陶家林、太官橋、望直港及び黃浦等の敵軍事施設を爆擊、これに甚大な打擊を與へたり

二、一日海軍航空部隊は湘潭（湖南省）を急襲、同地飛行場及び附屬建物に全彈を浴せこれに多大の損害を與へたり

三、わが江上艦艇は去る卅日彭澤（江西省）東方馬路口方面に移動中の敵集團約一千を砲擊しこれを潰走せしめたり、また卅一日湖北省東部巴河流域巴水驛附近の敵據點を砲擊し陸軍部隊の戰鬪に協力せり

△南支方面戰況

一、海軍航空部隊は卅一日及び一日の兩日賓陽南方崑崙關及び思隴の敵砲、機銃陣地を爆碎したるほか思隴附近に於て移動中の敵五百を銃擊し又那曉墟に於て敵陣地及び部隊を銃擊更に馬嶺墟に於て敵戰車群を爆擊これを擱挫せしむる等多大の戰果を收めたり

二、卅日柳州上空に於て赫々たる戰果を收めたる海軍航空部隊は更に敵空軍を殲滅すべく卅一日未明月光を浴び大擧して柳州飛行場を奇襲、敵の防禦砲火を目しつゝ城内各所を完膚なきまでに爆擊し地上機五を爆破し附屬建物五ヶ所を炎上せしめ全機無事歸着せり

三、去る卅日敵唯一の軍需補給鐵道滇越線を攻擊せし海軍航空部隊は一日千後再び大編隊を以て蒙自より佛印國境に至る滇越線の主なる橋梁及び線路數ヶ所を爆擊しこれに多大の損害を與へたり

【上海三日發國通】艦隊報道部三日午後一時發表＝

△中支方面戰況

一、揚子江警戒中のわが艦艇の一部は去る一日、田家鎭附近及び香口鎭南方何家潭方面に蠢動しつゝありし殘敵を砲擊これを敗走せしめたり、また去る廿九日黃石港對岸蘭溪附近において敵第百七十二師に屬する有力部隊を砲擊しこれを潰滅せしめたり

二、二日海軍航空部隊は南昌の南部における敵航空基地豐慶および衡陽を攻擊、何れも飛行場中心部および附屬建物を爆破せる外衡陽において敵地上機二を爆碎せり、又他の有力なる部隊は陸軍部隊の作戰に呼應し貴池（安徽省）南方水塘附近の敵陣地を爆擊これに多大の損害を與へたり

△南支方面戰況

一、連日遠く雲南に飛び蒙自を中心に滇越鐵道沿線を反復攻擊中の海軍航空部隊はその戰果を更に擴大すべく昨二日惡天候を衝き入佐、森両少佐および增永、渡邊、金子、鍋田の四大尉指揮の下に大擧滇越線々路及び鐵橋數ヶ所ならびにトンネル一ヶ所を爆破し多大の戰果を收め全機無事歸還せり

人事往來

着京

▲久永輝雄氏（滿洲砂金株式會社社員）四日來京三國ホテル
▲岡加賀夫氏（會社員）同國際ホテル
▲淺野平重郎氏（御用商人）同

その日く

◈興亞非常時の新春らしく輝く陽光の下、進む建設を想ふ

◈遙かなる大陸の南方、そこにひろがる戰線へも想ひは馳せつゝ

◈悠久の歷史映ゆる二千六百年だ、颯爽たりそして充實した一年であれ

◈知性なく彷徨するヨーロッパは何處に行き着くか、高處から見てゐよう

◈支那新政權も愈よ發足の段取りとなつたらしく、祝ふとしよう

新京美術院（假稱）愈よ實現

先づアトリヱ建築 四月期して着工

工費四十萬圓 南湖に敷地決定

康德七年度國都建設第三期の充實に先づ文化方面に全力を注ぐ事は舊臘新京特別市豫算發表の内容に覗はれるが、これが着手にかねての懸案であつた新京美術院（假稱）が愈よ設立される運びとなつた、新春早々アトリヱ建築の敷地を南湖隣接地と決定、四十萬圓の豫算を以つて建築に取りかかるべく四日起工十月初旬完成の見込である

なほ美術院に參畫せしむる者は大體國都に在住する美術關係者を主とするもので、市當局では日滿文化協會とも密接なる連絡を保ち近く各在京美術機關代表者を招致し種々美術院設立に對する希望を聽取する事になつた

大村滿鐵總裁 年賀に來京

滿鐵總裁大村卓一氏は三日午後八時二十分着列車で石本秘書役を帶同して來京理事公館に一泊四日午前十時關東軍司令部、滿洲國政府關係機關を訪問年賀挨拶を述べた、五日午後一時四十分列車で離京十日大連出帆の日滿連絡船で東上の豫定

軍用犬協會の新年祝賀會 事業計畫懇談

滿洲軍用犬協會では四日正午から胃葉グリルに於て新年祝賀會を開き出口專務理事をはじめ本部職員、新京支部役員等二十餘名出席、出口專務理事より年頭の挨拶があり一同杯をあげて協會の前途を祝福し本年度事業計畫等に就き隔意なき意見の交換を行つた

鄕軍勅諭奉讀式

帝國在鄕軍人會新京聯合分會第四分會では四日午前十時から滿鐵新京支社大會議室にて勅諭奉讀式を擧行、全員整列緊張裡に板倉分會長恭しく勅諭奉讀終つて冷酒の杯をあげ聖壽の萬歲を祈つて解散した、なほ當日は模擬召集演習をも行つたが一人の缺席遲刻者もなく非常時下に相應しき緊張を見せた

日本精神の講演會 協和會館で

協和會首都本部では光輝ある皇紀二千六百年の初頭にあたり、日本精神の眞髓を徹底させる意味に於てヤマトホテル滯在中の日本古代歷史研究學者田多井四郎次氏を煩はし、五日午後一時より協和會館に於て「日本神代文化と滿鮮支大陸との關係」と題する講演會を開催することゝなつたが、一般市民の傍聽を歡迎する

銀盤に躍る けふ兒玉公園にて

市立保健所支所 あす店開き

新京特別市中央通保健所では五日から南嶺の第六代用官舍南湖寮隣りに同保健所支所を開設し一般患者の診療を行ふこととなつたがこれが開所式は四日午後一時から同所において擧行された、なほ同所は內科、小兒科、婦人科の三科で診療は每日午前九時半から午後三時まで行はれることゝなつてゐる

日本晴れに 迎春興亞交響曲

上海の元旦和氣に滿つ

【上海二日發國通】紀元二千六百年元旦の上海は興亞大業の希望を象徵するに相應しく一點の雲なき快晴、しかも陽春の頃を想はせる暖かさに惠まれ眞に和やかな一日であつた、由來上海は元旦の天氣に惠まれぬ所で、元旦といふと必ず冷雨や霰が降るか或ひは寒いドンヨリ曇つた天候であるのが常で、近年では昭和十年の元旦が晴天であつたのを最後に昨年まで陰鬱な元旦が續いたのだが、この希望の年を迎へてかくも素晴しい元旦に惠まれたことは實に先幸よしと云ふべきである、扨てこの佳き朝わが陸海軍を始め官民各方面では夫々午前八時を期して一齊に東方を遙拜、聖壽無窮を祈願し奉り緊張裡に今年の奮鬪を誓ひ合つた、陸戰隊本部前の上海神社は皇軍の武運長久を祈る居留民が引きもきらず雜踏を極めたが、高島田晴衣姿の若い娘さん達がうち連れて神殿前に額づく光景なども數多く見られた

又虹口では門每に松竹が飾りつけられ至る所に振袖の女の子がつく羽子板の悠長な音が聞えるなど支那らしい喧騷の中にも日本の正月の雰圍氣が濃厚であつた

一方共同、英佛兩租界では例年の通りニユー・イヤース・イーブの賑ひがみられたが、今年は各ナイト・クラブ、ダンスホールとも非常な雜踏でその景氣は事變以前以上とさへ云はれてゐる、ことに兩租界內百個所に近い大小ダンスホールは何れも身動きならぬほどの人出で、卅一日夜から一日朝にかけて亂痴氣騷ぎが行はれたが、この雜踏中には英佛人あり、ドイツ人あり、これにイタリー人、ロシア人、アメリカ人、支那人等入亂れて複雜怪奇な夫々の祖國の情勢を他所に踊り狂ふ樣は上海ならでは見られぬ光景であつた

共同租界では租界西方に接する愚園路の汪精衞氏公館附近は大きなナイト・クラブ多く一晩中夜會服の男女を乘せた自動車が交叉してゐたが、夜明けとゝもに人通りも少く終日靜かに元旦を過した、かくして紀元二千六百年、一九四〇年上海の元旦は嚴肅の中にも和氣藹々たる虹口と徹夜の亂痴氣騷ぎに草臥れ氣味の兩租界とが所詮相和されぬ年頭の交響曲を奏しつゝ暮れていつた

腹を叩いて談笑

西尾將軍の陣中迎春所感

【南京三日發國通】支那派遣軍總司令官西尾大將が沈默の塔から脫け出たように放送やトーキーニュースに力强い第一聲を放つた皇紀二千六百年正月は大將にとつても人生六十晴れの門出である、大將の正月は昨年は東京だつたが一昨年は濟南だから本年は陣中に迎へる二度目の正月である、陽光麗らかな三日正午から大將は南京の官邸に記者團を招き裃を脫いだ初會見を行つた

「榮ある皇紀二千六百年を諸君と共にお祝ひします」

兵隊のついた鏡餅を背に盃を擧げ大將の聲は青年のやうに若々しい、每朝缺かすことのない乘馬練習で寒風に鍛へられた顏の皮膚は半黑色にまで日焦けしてゐる

「輕い食事をしましたどうぞ」

とすゝめながら眞ッ先に割箸をパリッと裂いて芋を、刺身を次々に平らげて行く

「正月に何か詩でもお作りになりましたか」「いやいや文筆は最も苦手で小學校の時から作文が一番惡かつたよハヽ…」

ふーと吐き出す國產チエリーの煙の中で奇麗に揃つた大將の齒が白く笑ふ、こゝぞとシヤッターを切るカメラマンに

「十枚に一枚は上手に撮れますか」

と謹嚴な西尾將軍には珍らしい憎まれ口がひよいと洩れる、盃をぐいぐい重ねながら皇軍慰問の假面をかぶつた慰問團が來た話や

「自分は氣が長くて大陸的だと思ふ」

といふやうな話から話題は宣傳の話に發展する

「宣傳は反復勞を厭はずといふのが妙諦ではないかな、結局宣傳といふても軍隊でいふ教育訓練と同じ事だからな」

とその大きな口で飯を立續けに二、三杯けろりと平らげてお腹をぽんと叩いて

「今年はやるぞ」

と言はんばかりに我等の西尾總司令官は新年を迎へて愈よ元氣である（寫眞は西尾總司令官）

盡忠報國の誓ひ

關東軍勅諭奉讀式

關東軍司令部の勅諭奉讀式は四日午前九時半より司令部內講堂に於て擧行飯村參謀長以下幕僚をはじめ全員整列梅津軍司令官明治十五年軍人に賜つた五ヶ條の勅諭を奉讀時局下一層盡忠報國の念を堅めた

中崎氏榮轉

新京倶樂部更生に盡瘁 滿鐵支社鐵道課異動

滿鐵では四日附社報をもつて新京支社鐵道課職員の人事異動を左の如く發表したなほ今回の異動で牡鐵貨物係長に榮轉した中崎一之氏は新京支社鐵道課の前身新京鐵道事務所時代から在勤複雜多岐なる鐵道營業業務を掌鞅して敏腕の譽高く一面スポーツに趣味と理解をもち新京倶樂部の更生に盡瘁せることは周知の如くである

牡鐵貨物係長（新京支社鐵道課營業係主任）中崎一之

奉鐵貨物係（新京支社鐵道課營業係）小口光雄

新京支社鐵道課營業係主任（奉天驛貨物主任）新田直人

新京支社鐵道課營業係（鐵道總局營業局貨物課）岩竹貢

輝く皇紀奉賛に 記念の豪華繪卷

今上陛下御即位の佳日輝く御式典

【東京國通】輝く橿原神宮の興亞の太鼓に明けて輝く皇紀二千六百年、聖戰下民一億はいよいよ奉公の誓も固く國運隆昌の一新紀元を劃す昭和十五年は歷史の一頁に偉大な炬火を點じてスタートを切つた、さて繰展げられるこの一年奉祝の豪華繪卷は先づ二月十一日宮中に執り行はせられる紀元節の御儀は申すも畏く、神宮はじめ官國幣社以下全國神社の紀元節祭は勅令による特に大祭として壯嚴な祭典が行はれ

一、橿原神宮境域ならびに畝傍山東北陵參道の擴張整備

二、宮崎神宮境域の擴張

三、神武天皇聖蹟の調査保存顯彰

四、御陵參拜道路の改良

五、國史館の建設

六、日本文化大觀の編纂出版

の六大事業は奉祝會の手により着々進捗、日英獨佛四ヶ國で編纂される日本文化大觀の如きは既に日本語版は編纂を終り近く出版される運びとなつてゐる、その他市內各デパートの二千六百年奉祝展覽會、天覽武道試合についで十一月十日今上陛下御即位の佳き日に擧行される記念式典に喜びは最高潮に達し民間團體も日本文化中央聯盟主催の藝能祭を筆頭に擧つて赤誠を籠めた奉祝記念事業を行ひ、全國は光輝ある二千六百年奉祝の一色に染められ聖恩の宏大なるに應へ奉り、かくて皇祚無窮の神勅に萬古不易の國體はいよいよ限りなき發展に邁進するのだ

英靈に祈る靖國神社に參拜の遺族

〃年始客の輪禍〃

昨夜、東二條通で馬車馬狂奔 滿人電工重傷負ひ死亡

屠蘇に醉つたのも束の間忽ち天國行となつた滿人男—三日午後九時二十分頃永樂町三ノ一電業會社電工劉東何（四四）さんは年始廻りの途中、吉野町二丁目から三丁目に赴かうと金泰洋行前で東二條通を横斷せんとした際東二條通を北進遁走して來た奔馬に顏、頭、腹部全身に二十數個所の打撲傷を負つてその場に昏倒奔馬はなほも暴れ狂ふのをやつと駈けつけた馭者、官憲に取押へられたが、劉さんを直ぐさま滿鐵醫院へ擔ぎ込み應急手當を施したが內出血甚だしく同十時二十分頃死亡した、所轄中央通署より係官出張取調べたところ右馭者は西三道街三義胡同九號王廣明（三五）と云ひ四—二五三號車を流しながら東二條通二條ビル附近まで來た時馬は何の音に驚いたのか突然暴れ出して二本の楫棒をへシ折つて遁走、正月早々凍てつく路上を血で彩つたもの

牡丹江協和會事務長任命要望

森前協和會牡丹江省本部事務長の新京轉任後久しく空席のまゝ放置されてゐたが同省の特異性に鑑み永らく空席に置くことは遺憾であると舊臘二十七日の省本部委員會により後任事務長の急遽任命派遣方を中央本部に申達した

正月から家出

祝町三ノ一三カフエーミス日本女給佐々木喜美子（三四）は二日午前九時頃外出したまゝ行方不明となり▼大經路滿洲煖房商會こと宮崎明治さん方子守延吉生れ邊慶芝（一二）さんは三日午後二時頃叱責されたのを苦にして家出行方を晦し何れも中央通署へ所在搜査方願ひ出た

「わかもと」ののし餅配給

わかもと本舖榮養と育兒の會では每年東京市內各警察署管內の貧困者にのし餅を配給してゐるが、舊臘廿五日早朝から五班に別れて夫々トラックで配給した

訂正

二日夕刊北鐵代償金最終割賦金支拂に關する滿洲國外務當局談中、對ソ請求額約百三十萬圓以下十字を削除す

滿洲の豆、油を所望

ドイツ經濟界は底力が强い 北村孝次郎氏の歐洲土產話

前正金銀行ベルリン、ハンブルグ兩支店支配人北村孝次郎氏は今回支配人を辭し內地歸還の途二日國際列車で哈市に歸着したが左の如く語る

舊臘廿一日ベルリンを出發してリガを廻りモスクワを經て八年振りで滿洲の地を踏むわけだが、滿洲の素晴しい發展には驚いた、鐵道もシベリア鐵道に比べると

動搖 も少く心持ちが良い、ソ聯官憲の態度は好意的でソ聯に入るときでもドイツでは詳しく調べられたがソ聯では簡單に查證を濟まして吳れたのには意外に思つた位だ併し書籍や印刷物は非常にやかましく土產に買つた煙草を包んであつた新聞紙は全部白紙に包みかへられまた賴まれた手紙は全部開封すると言つた有樣だ、ベルリンは晝は變りはないが夜は相變らず眞ッ暗闇で吾吾は自動車がなければ步けない程だが、ドイツ人は平氣で夜の街を步いてゐる、食糧は總て切符制度で一週間每に支給されるのであるがこれは平時の三分の一で濟むさうだから恐しい程の持久力があるわけだ、國民はこれでも不滿一つ言はず前線も銃後も一つになつてゐるのには感心する、

苦勞 宴會などでも皆切符を持寄つてやるのだが慣れてしまふと何とも感じない樣子でコーヒーは南米と貿易が杜絕してベルリンでは本當にコーヒーは飮めない、ビールはまだ澤山あるが今年からはアルコールの含有量が十三パーセントから七、八パーセントに下ることゝなつてゐる、ドイツの國民は最近の日ソの步み寄りに注目し兩國の提携を非常に希望してゐるやうだ、今日のドイツは前の大戰當時よりずつと條件はよいが戰爭は出來るだけ避けたい意向である、經濟方面でも最初懸念されてゐたやうな心配はなく極めて底力のあるもので、經濟的に參るやうなことはないだらうが、寧ろ心配の點は戰爭後にあると思ふ、英國はフランスに派遣してゐる軍隊を今年は百萬近くに增加すると言つてゐるが、先づ今度の戰爭は潛水艦と機雷の戰爭で案外早く解決するのではなからうか、現在のドイツ軍の戰費は第一次大戰の三分の一だと言ふから經濟方面に如何にドイツが頭を惱ましてゐるか窺はれる、滿洲國の大豆、大豆油にしても非常にドイツでは欲しがつてゐるが、之が輸送路はシベリアを經由するより外なく日ソ通商交涉などにも相當の

關心 を有つてゐる 唯一の補給路バルカンの物資輸入については極めて眞劍な態度で現在の輸入物資の四十パーセントを占めるバルカンの物資を七、八十パーセントに增加しようと努力してゐるが、フィンランドに進出してゐるソ聯が今度は如何なる態度を示すかゞドイツにしても、中立國にしても重大なる關心となつてゐる

上半期公演

音樂院七年度プロ

新京音樂學院の康德七年度上半期定期公演曲目は左の如く決定した

△第十一回定期公演　一月二十八日（日）於協和會館

一、滿洲樂
（イ）萬年歡（滿洲婚禮行進曲）
（ロ）花六板（古曲）
（ハ）漁翁樂（滿洲歌謠歌唱付）

二、混聲合唱
（イ）海ゆかば
（ロ）日本讃歌

三、管樂「越天樂」　近衞秀麿編曲

四、テノール獨唱
（イ）旅人　細田透
（ロ）好奇心　下總皖一曲

五、絃樂合唱「セレナーデ」　シューベルト曲　モツアルト曲

六、管絃樂　序曲「魔笛」　モツアルト曲
指揮　滿洲樂　陳芬
合唱　細田透

四、ヴァイオリン獨奏　金東振

五、合唱　曲目未定

六、管樂
（イ）バクダットの太守　ボアルディユ曲
（ロ）ウキーン氣質　ヨハン・シュトラウス曲

△第十五回定期公演　五月二十五日（土）於協和會館

一、管絃樂「組曲第三」ニ長調　バッハ曲

二、管絃樂　スラブ行進曲　チャイコフスキー曲

三、管絃樂附合唱「流浪の民」　シューマン曲

四、序曲「ルスランとドミラ」　グリンカ曲
指揮　大塚淳

△第十六回定期公演

近藤勇

橋爪彥七
西正世志畫

（百四）

憫む近藤（五）

亭主の源助が、そばから『お痛みでございませう』と、云ふと、鐵馬は、顔だけで笑つて、『斬り手が、近藤だから、痛まぬやうに斬つてある』『御冗談ばかり……』『はゝゝ、だが、あの時ばかりは驚いたな。不意打をかけられて逃げ場を失つて、裏から屋根に出たまではよかつたが、飛ぶにも飛べず、物干台から辷り落ちた態はなかつたが……』

三吾が、『それで、却つて命拾ひをしたやつだ』『まつたく、落ちたから夢中で逃げた。あの時は、腕の痛みなどてんで覺えなかつた』『さういふものだ。時に、桂氏はどうされたらう？』

源助が、『もう、おつゝけお見えになりませう』

云つてゐるところえ、『御兩所――』と、桂の姿だ。『おッ』二人と、亭主とが、つゝみきれない嬉しさで迎えて三吾が、『御無事と聞いてゐましたが』と、恭しく頭を下げた。『お蔭で』桂は、どつかりと坐つて『坪田氏も安藤氏も、よくあの場を遁れられたな』『必死でした』と、安藤が微笑した。

折から、夜の靜けさを傳つて、地唄の粋な三味の音が聞える。『お、誰だ、あれは？』鐵馬が、訊くと、源助が『階下でござります』と、意味あり氣な、笑ひを洩らした。三吾が、それを見て、眼と耳との感で、それが幾松だと悟つて、『安藤、安藤――』『む？』

鐵馬が、三吾の瞳を覗いて、『お、な、なるほど……』さう云つて、ちらと、桂の方を眺めてから、『時に――羅落をなされた三條中納言様をはじめ七卿の方々は、今頃どうなされて居られませう』

桂が、『日夜、心にかゝつてはゐるのだが――』三吾が、『御消息は？』『どうも分らぬ』さう云つて、暗然となつて、桂が、『たゞたゞ御息災をお祈り申上げるばかりだ』鐵馬と三吾とは、顔を見合せてこれも心を暗くした『桂氏』『む？』振りあふぐ桂に、鐵馬が『岩倉様の御幽閉は？』『解けぬ、まだまだ解けぬ』桂は、大きく首を振つたが、『殊に――』と、言葉を續けて、『池田屋の事件から一層疑惑が深められてある。おいたはしい限りぢやし、我々にとつても大きな蹉跌だ』さう云つて、桂は、源助の方を見て、『源助』『は』『あれは、まだか？』『まだ見えませぬが……』兩人が、『何んですか？』と、源助と、桂とを等分に見くらべるのへ、桂が、『實は、この席へ薩州の三室剛造が呼んであるのだ』『薩州？』『薩州ですと？』鐵馬と三吾とが、急に、眼に角をたてゝきた。

暦 一月四日（舊十一月廿六日）金曜 丁未 赤口 危 亢宿
東京・本郷・神誠館

● 一白の人　輕卒に事を擧るときは紛糾失敗を招くべし　南と北と西が吉
● 二黑の人　滿足は退歩の基ゐと悟り心を緩むべからず　東と丁と北が吉
● 三碧の人　伸び悩みの苦勞多き日何事も自然を待べし　壬と東と西が吉
● 四綠の人　現狀を維持し居れば自然好氣運に向ふべし　壬と巽と乾が吉
● 五黃の人　自重すれば自ら解決の曙光現れ來るべし　東と丁と巳が吉
● 六白の人　運氣開發の大吉日にして入學名弘めに吉し　巽と壬と丁が吉
● 七赤の人　木の實が芽を出し追々茂り行く如き吉日　壬と甲と巽が吉
● 八白の人　糸の縺れを解くが如く氣を永く攜ふべき日　東と南と北が吉
● 九紫の人　信義を守り輕卒を愼むときは何事も成就す　乾と丁と壬が吉